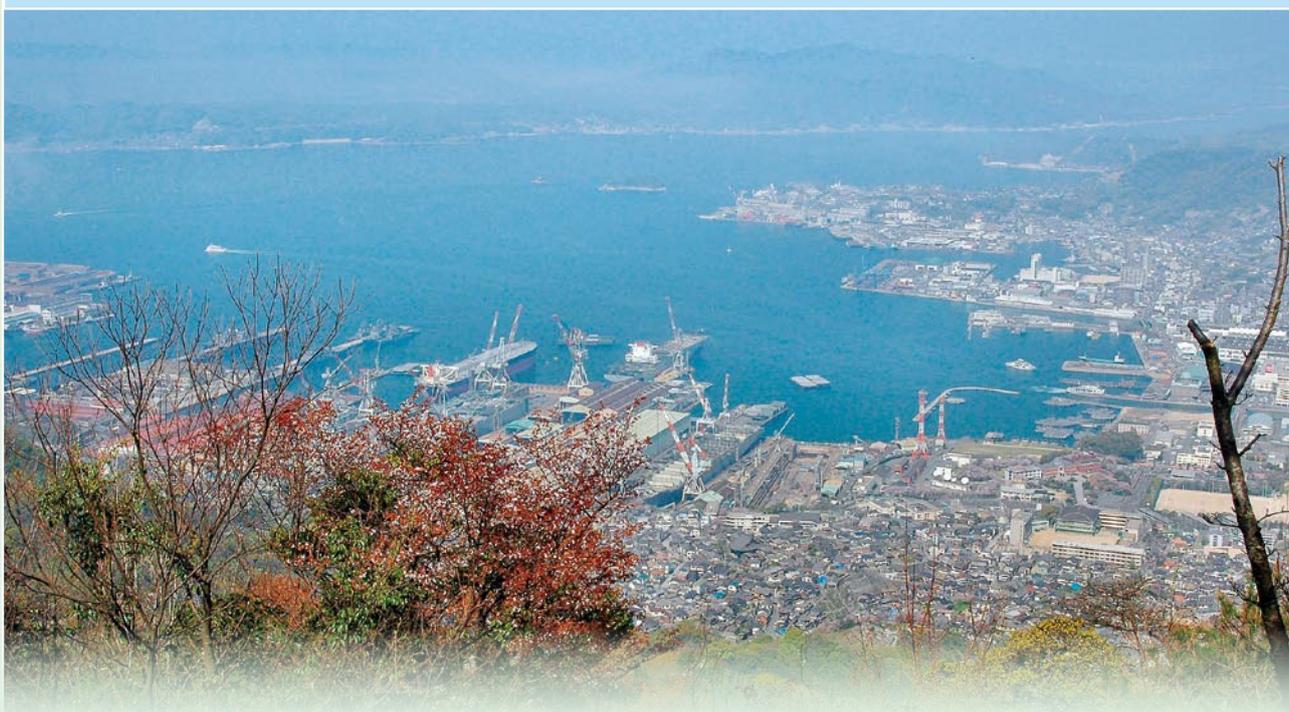




宮原地区まちづくり基本計画

みんなで創る明るく親しみのある町
夢と誇りをはぐくむ町 宮原



宮原地区まちづくり推進委員会



ごあいさつ

平素は地域のことについて皆様にはいろいろとご協力を頂き感謝申し上げます。

宮原地区まちづくり推進委員会は、平成17年呉市の提唱により設立したもので、当地区の各団体（自治連、老連、民児協、女性会など17団体）で構成し、少子高齢化、人口減など社会環境が急激に変化するなか、地域と行政がより緊密な連携をとりながら協働しあって元気で住みよい「まちづくり」を実現することを目的としております。

この『まちづくり基本計画』は、従来各団体が個別に行っていた防災、防犯、交通安全、スポーツ、健康づくり、文化、子育て、教育、高齢福祉、環境等広範に渡る事業を「宮原のまちづくり」という観点で総合的に推進しようというもので、平成30年度までの10年間の計画となっています。昨年6月に着手し、住民の意識調査、有識者の提案書収集などの基礎的作業を行い、委員会での活発な議論を経てこのほど完成いたしました。

内容的に住民の皆様への周知が必要と考え、製本し自治会経由で配付することとした次第です。この冊子に目を通され「宮原のまちづくり」に関心を持っていただくとともに、一人でも多くの方がまちづくりへ参加してくださいませよう願っております。

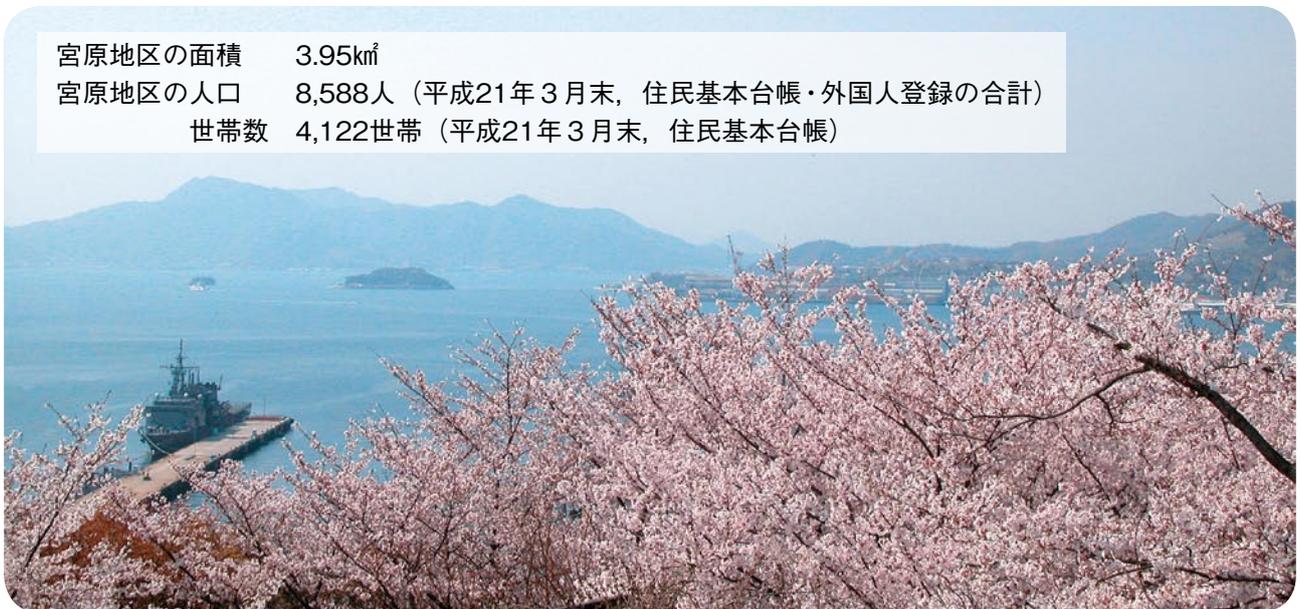
最後に、本計画書作成に当たり、短期間でこれをまとめ上げられた宮原市民センターの担当の方のご努力に対し、賛辞と謝意を申し述べます。

平成21年7月

宮原地区まちづくり推進委員会

会長 塩見 博

宮原地区の面積	3.95km ²
宮原地区の人口	8,588人（平成21年3月末、住民基本台帳・外国人登録の合計）
世帯数	4,122世帯（平成21年3月末、住民基本台帳）



申山公園

目次

第1	はじめに	1
1	1 計画策定の趣旨 2 宮原地区の概要	
第2	基本計画総論	3
1	1 基本計画の目標年次 2 将来の町の姿	
3	3 まちづくりの基本目標 4 まちづくりの基本戦略	
第3	基本計画各論	5
その1	歩いて安全, 住んで安心のまちづくり	
1	1 防災 2 防犯 3 交通安全	
その2	楽しく交流するまちづくり	7
1	1 スポーツ・健康づくり 2 文化	
その3	やさしさと笑顔あふれるまちづくり	9
1	1 子育て・教育 2 高齢福祉 3 その他	
その4	美しく生活しやすいまちづくり	11
1	1 環境整備 2 都市基盤整備	
その5	町民参加の態勢づくり	12
付属資料		13
1	1 まちづくり基本計画策定の主な経過	
2	2 宮原地区まちづくり推進委員会委員名簿	
3	3 宮原の歴史	
4	4 宮原マップ	



小学校の田植え



ロードレース大会



保育所のひな祭り



八咫鳥神社秋祭り



伊勢名神社秋祭り



赤崎神社秋祭り

第1 はじめに

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など社会環境が変化の中で、防災、防犯、環境、教育、福祉など、地域を取り巻く課題は複雑・多様化しています。

このような中で、地域住民が誇りを持って安心して暮らせる地域とするため、住民一人ひとりが主体的に地域づくりに参画する社会を構築し、地域自ら自立した存在として力を高め、多くの住民の参加により地域の課題を解決していくことが重要となっています。

この計画は、宮原地区の現状と課題を明らかにし、住民が主体となった新しいまちづくりの指針として策定するものです。

2 宮原地区の概要

(1) 地理的特性

宮原地区は、休山の麓の起伏の多い斜面に帯状の市街地が広がり、呉港、自衛隊の艦船、造船所のクレーン等いかにも呉らしい景色を見渡すことのできる風光明媚な街です。特に、呉湾に沈む夕日は息を飲むほど美しいといわれています。

一方、斜面市街地特有の問題として、台風、集中豪雨による崖崩れ等の不安があります。また、狭隘で線形の悪い勾配のきつい道路が多いため、車社会への対応が難しく、若者の地域離れ、少子高齢化の要因となっています。

(2) 歴史的特性

近代宮原の沿革は、明治22年の呉鎮守府の開庁をきっかけとして、戦前は海軍とともに、戦後は造船所や製鉄所とともに発展しました。地区内には、多くの史跡、記念碑があり、幼い頃から歴史について触れることができる素晴らしい環境を持っています。



憶戦艦大和之塔



造船船渠の碑



子規句碑



風水害犠牲者慰霊碑

(3) 社会的特性

宮原地区の人口は、昭和40年代前半の1万7千人をピークに減少を続け、平成20年9月末現在で8,725人と最高時の半分近くとなっています。呉市の中でも少子高齢化の進んでいる地域であり、全人口に占める15歳未満の子どもの割合は10.4%と呉市全体より1.7ポイント低く、65歳以上の高齢者の割合は30.3%と呉市全体より2.8ポイント高くなっています。

また人口の減少に伴い、バス通り沿いの商店の閉鎖が相次ぎ、日常の買い物に不便が生じ、それが住民の転出の原因になるという悪循環が生じています。空き屋・空き地も増加し、生活環境を悪くしています。

(4) 住民気質

宮原地区の住民は、穏やかで人情味あふれる人が多く、ほとんどの方がわが町に愛着を持っています。また、地域住民同士の繋がりが強く、ご近所での助け合いの精神が残り、他人の子どもでも何かと気に掛けるような雰囲気があります。

平成17年度に実施された呉市市民意識調査においても、「宮原に住み続けたい」と答えた方が82.9%、宮原を「住みよい」と答えた方が78.9%となっています。

しかし、一部では近隣関係の絆が弱くなり、緊急時の対応に不安があるという指摘があります。

(5) 住民活動

宮原地区では、自治会を始め各種団体の活動が活発で、行政とともに地域の安全、環境、福祉、子育て、青少年の育成、生涯学習、地域文化の伝承などを支えています。中でも高齢者の参加が積極的で、地域活動の中心として活躍されています。

一方、団体相互の連携が不足していることや、会社等を退職した年代の参加が少なく、将来にわたって今の水準を維持できるかという不安が指摘されています。



中学生との育児の集い



クリーン活動



子ども大会



クリーン活動

第2 基本計画総論

1 基本計画の目標年次

この計画は平成30年度を目標年次とし、5年後に全体の進捗状況を点検し、見直しを行います。また、この基本計画に基づき実施計画を作成し、毎年度当初に関係団体と協議しながら事業を実施していきます。

2 将来の町の姿 ～ みんなで創る明るく親しみのある町、 夢と誇りをはぐくむ町 宮原

安心・安全を基盤に、子どもからお年寄りまで、一人ひとりの町民がまちづくりに関わり、町を歩けば誰とでもあいさつを交わせる。そのような、明るくて、親しみのある住みよい町を目指します。

また、将来の世界や、日本や、呉市を担う子供たちが、夢と誇りをはぐくむことができるようなまちづくりを進めていきます。

3 まちづくりの基本目標

(1) 歩いて安全、住んで安心のまちづくり

地域のつながりと協力で防災・防犯・交通安全の活動に取り組み、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる町を目指します。

(2) 楽しく交流するまちづくり

スポーツ・健康づくり・文化活動など様々な行事に多くの町民が参加し、楽しく交流できる町を目指します。

(3) やさしさと笑顔あふれるまちづくり

ご近所同士の助け合いを大切にし、高齢者がいきいき生活し、子どもがのびのび・すこやかに成長できる、笑顔あふれる町を目指します。

(4) 美しく生活しやすいまちづくり

町内の美化を進め、ゴミのない清潔な町を目指します。

宮原地区の都市基盤整備については、住民の知恵を結集し、行政等への提案・要望、行政との協働など様々な方法により進めていきます。

(5) 町民参加の態勢づくり

まちづくり推進委員会を中心に地域で活動する各団体がそれぞれの目的や活動を尊重し、連携を強めるとともに、若い世代の力を地域活動に活かし、多くの町民が何らかの形で地域の活動・行事に参加する町を目指します。

4 まちづくりの基本戦略

この基本戦略は、宮原地区のまちづくりにとって特に重要な課題で、大局的に進めていくべき事柄を記載しています。

(1) 官民協働の防災体制づくり

宮原地区は急傾斜地に多くの住宅が密集しており、昭和20年9月の枕崎台風で309名、昭和42年7月の集中豪雨で14名の方が犠牲になるなど、過去の水害で大きな被害が発生しています。その後河川や崖地の整備が進みましたが、今でも多くの住民が、山崩れ・崖崩れ・河川の氾濫に対する不安を持っています。

当地区のまちづくりを進める上での第1の課題は「防災体制づくり」であり、大局的な見地で事業を進めていく必要があります。

そのために、すべての町で自主防災会を結成し、定期的に訓練・研修を行うとともに、各団体の行事の中に防災に関連した事項を組み入れるなどして住民の防災意識を高めていきます。また、行政・関係団体に働きかけて（仮称）宮原地区防災会議を設立し、それぞれの役割分担と連携を整理した宮原地区防災計画を策定し、災害への即応体制を整えます。

(2) 子育てなら宮原で

宮原地区では多くの団体・住民が子どもを対象とした行事等に関わり、「地域の中で子どもを大切に育てたい」という共通の気持ちが強くあります。子どもの存在は、敬老会において保育園児や中学生のアトラクションが最も人気があることから分かるように、高齢者にとっての楽しみ、地域の活力の源泉でもあります。

また、宮原地区の特色として、呉市に4か所しかない児童館が設置されていることや、保育所から高等学校まで揃っていることがあげられ、住民も様々な形でこれらの施設の運営に関わっています。

宮原は生活に不便だからという理由で若い子育て世代が他地区へ転出する傾向がありますが、町の中から子どもの声が聞こえなくなるほど寂しいことはありません。宮原の特色を生かしながら「子育てをするなら宮原がいい」と言われるような町を目指していく必要があります。

そのために、基本計画各論に記載した事業を実施するとともに、住民団体・公民館・児童館・保育所・学校等の役割と連携について検討し、総合的な地域子育て計画を策定、地域の中での子育てを進めていきます。

(3) まちづくりは人づくり

今現在、奉仕の精神にあふれた多くの方が宮原地区をよくするために様々な形で活動していますが、この基本計画を推進し、当地区を活性化するためには、さらに幅広い町民が参加し、まちづくりに携わる町民の層を厚くすることが求められます。

また、多くの人をまちづくりに巻き込んでいくためには、まちづくりのための知識や技能、情熱が必要となってきます。

「まちづくりは人づくり」、宮原のために何かしたいと思っている方を掘り起こすとともに、研修等により個々の力量を引き上げていきます。

第3 基本計画各論

その1 歩いて安全、住んで安心のまちづくり

1 防災

(1) 現状と課題

宮原地区の防災活動としては、消防団の災害出動、自主防災会による町内での防災訓練・災害時の対応、民生委員による災害時要援護者支援台帳の作成、赤十字奉仕団の赤十字救急法研修などがあります。平成20年度は、まちづくり推進委員・自治会長等による先進地視察、まちづくり推進委員会・健康づくり推進協議会による水害慰霊施設巡りのウォーキング大会が行われました。

このように、当地区の自治会、各団体の防災意識はかなり高いものがありますが、すべての自治会で自主防災会を結成するには至っていません。

また、どの町も高齢者が多く、災害発生時の対応が問題となっています。

(2) 基本方針

- ① すべての自治会で自主防災会を結成します。
- ② 行政、自主防災会及び関係団体の参加により、(仮称)宮原地区防災会議を立ち上げ、それぞれの役割分担と連携を整理し、宮原地区防災計画を作成します。
- ③ 各自主防災会での防災訓練の実施、防災器材の整備を促進します。
- ④ 災害時要援護者の把握に努めるとともに、災害避難援助ボランティアを募集するなど災害弱者に対する支援態勢を整えます。
- ⑤ 宮原地区全体の防災訓練を実施します。
- ⑥ 防災器材備蓄拠点の整備を進めていきます。
- ⑦ 過去の水害を伝承する活動に取り組みます。
- ⑧ 防災行政無線放送の改善を要望していきます。
- ⑨ 砂防堰堤に堆積した土砂の排出を要望していきます。



防災訓練



自主防災先進地視察



防災訓練

2 防犯

(1) 現状と課題

宮原地区の防犯活動としては、自治会による防犯灯の管理、自治会ごとに編成された防犯パトロール隊によるパトロール、青少年補導員連絡協議会による巡視、保護司会による更生保護活動及び社会を明るくする運動、交番連絡協議会による啓発活動などがあります。

また、自治会等の美化活動により地域の清潔感が保たれていること、各団体の親睦・交流活動により地区住民同士の繋がりが強く地区にまとまりがあることも、防犯にとって有効となっています。

当地区の平穏はこれらの団体の地道な活動によって保たれていますが、今後とも現在の水準を維持し、犯罪の芽が出にくい町にしていくことが大切です。

(2) 基本方針

- ① 現在行っている活動を継続します。
- ② 不審者に適切に対応できる態勢を整えます。
- ③ 多くの町民が防犯活動に参加できるような態勢づくりを進めます。
- ④ 環境美化啓発、「あいさつ運動」などを進め、犯罪者や不審者が寄りつきにくい環境づくりを行います。



防犯パトロール隊結成式

3 交通安全

(1) 現状と課題

交通安全の活動としては、交通安全推進委員並びに子ども会及びPTAの保護者が、毎月3回、交通安全日の街頭指導を行っているほか、交通安全推進協議会の交通安全街頭キャンペーン、日新宮原会によるカーブミラーの清掃などが行われています。

宮原地区の交通安全はこれらの活動によって維持されていますが、通勤時間帯にバス通りを早いスピードで通過する車両、串山公園の船見町側の市道を通過する車両の危険性が指摘されています。

(2) 基本方針

- ① 現在行っている活動を継続します。
- ② 交通危険箇所については、関係者が集まり調査・協議し、対応していきます。



カーブミラー清掃



交通安全街頭キャンペーン

その2 楽しく交流するまちづくり

1 スポーツ・健康づくり

(1) 現状と課題

体育協会が、町民運動会、ソフトバレーボール、ロードレース等の大会を主催しているほか、他団体のスポーツ活動への指導・支援を行っています。健康づくり推進協議会が、ウォーキング大会、体力測定教室などを行っています。小中3校のPTAが、児童生徒と地域住民との交流ペタンク大会を行っています。老人クラブ連合会が、高齢者を対象にスポーツ大会、ゲートボール大会、グランドゴルフ大会、軽体操教室を開催しています。

なかでも町民運動会は町内最大の交流行事で、毎年約800人の町民が参加しています。それだけに町民の期待が大きく、「競技種目に変化がほしい」、「スポーツ以外にもフリーマーケットなどの催しがあればいい」などの意見が寄せられています。

(2) 基本方針

- ① 体育協会、健康づくり推進協議会など各団体が主体となって、様々な行事を実施し、宮原地区のスポーツと健康づくりの増進を図ります。
- ② 町民運動会をより面白く、より多くの町民が交流できるよう、関係団体と協議しながら拡充していきます。



町民運動会



町民運動会



ウォーキング大会



ウォーキング大会



老人スポーツ大会



少年少女ソフトバレーボール大会

2 文化

(1) 現状と課題

文化の振興では、文化連盟が地区文化祭等を開催しています。郷土史では、明治青年大学が郷土史の講座を開いているほか、まちづくり推進委員会及び健康づくり推進協議会が歴史探訪ウォーキング大会を開催しています。国際交流では、平成20年度から町民運動会及び地区文化祭でIHIのベトナム人研修生・実習生との交流が始まりました。

また、平成20年度公民館に公民館運営委員会が設置され、地域住民の声を公民館運営に反映させる仕組みが整いました。

(2) 基本方針

- ① 地区文化祭を宮原地区の全体行事として盛り上げていきます。
- ② 子どもに宮原の歴史を教え、宮原っ子としての誇りを育むような企画を検討します。
- ③ 宮原の子ども達が国際的視野を持てるよう、子ども向けの国際交流の企画を検討します。
- ④ 公民館の運営に積極的に関わり、町民の生涯学習の増進を図ります。



地区文化祭



地区文化祭



地区文化祭



国際交流（ベトナム研修生）



老人芸能大会



新春カルタ大会

その3 やさしさと笑顔あふれるまちづくり

1 子育て・教育

(1) 現状と課題

乳幼児を対象とした事業としては、主任児童委員及び児童委員が、赤ちゃんのいる家庭を訪問し、相談対応・子育て情報の提供を行う「こんにちは赤ちゃん事業」のほか、毎月「育児の集い」を開催しています。

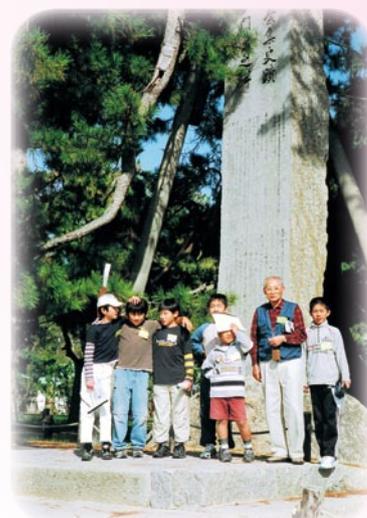
小学校以上の児童・生徒を対象とした事業としては、学校・PTA・地域住民による「宮原小ふれあい文化祭」、「坪内小つぼんち祭り」、「ベタンク大会」、体育協会による「少年少女ソフトバレーボール大会」、「ロードレース大会」、青少年補導員連絡協議会による「あいさつ運動」のほか、各団体、各町の自治会・子ども会が様々な活動を行っています。

子どもの安全を守る活動として、防犯パトロール、交通安全日の街頭指導、青少年補導員連絡協議会による巡視などがあります。

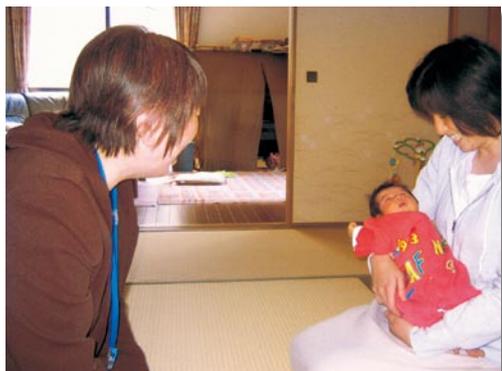
しかし、子どもの数が減少している上に、子どもの趣味・家庭教育の多様化の影響で、子ども会活動が成立しにくいとか、子ども向けの行事をしても参加者が集まりにくいといった問題が指摘されています。

(2) 基本方針

- ① 現在の活動を継続していきます。
- ② 住民団体、公民館、児童館、学校、保育所、行政の役割と連携を整理した「宮原地区子育て計画」を策定します。
- ③ 新たに出生した赤ちゃんにプレゼントを贈り、地区全体で祝福します。
- ④ 子ども大会を宮原地区を代表するイベントに拡充します。
- ⑤ 子どもに宮原の歴史を教え、宮原っ子としての誇りを育むような企画を検討します。〔再掲〕
- ⑥ 宮原の子ども達が国際的視野を持てるよう、子ども向けの国際交流の企画を検討します。〔再掲〕
- ⑦ 児童館が開催する諸行事を支援していきます。



チャレンジ歴史探検隊



こんにちは赤ちゃん事業



高校生による夏休み子ども教室

2 高齢福祉

(1) 現状と課題

高齢者の生きがい活動として、老人クラブ連合会及び各老人クラブによる様々な趣味活動及び行事が行われ、多くの人に喜ばれていますが、老人クラブの会員数は近年減少傾向であり、解散した老人クラブもあります。

何らかの支援が必要な高齢者のための活動としては、民生委員による相談活動、各老人クラブでの「友愛活動」、自治会等による「ふれあい・いきいきサロン」が行われています。

また、社会福祉協議会、自治会連合会及び女性連合会による敬老行事が行われています。

(2) 基本方針

- ① 現在の活動を継続していきます。
- ② 老人クラブの活性化について検討します。
- ③ 「ふれあい・いきいきサロン」の実施個所が増えるよう啓発活動を行います。



ふれあい・いきいきサロン

3 その他

(1) 現状と課題

その他としては、民生委員による生活相談、社会福祉協議会による修学旅行助成金及び野外活動助成金の支給、赤十字奉仕団による「年末愛の運動」、自治会による各種募金、母子寡婦福祉会による母子研修並びに人権教育・啓発推進協議会及び自治会等による人権問題研修会などが行われています。

また、宮原地区では、様々な福祉事業者が町民の相談に対応し、サービスを提供しています。地区内に入居型の施設を有している事業者もあります。しかし、住民の側からそれらをチェックする仕組みがありませんでした。

(2) 基本方針

- ① 現在の活動を継続していきます。
- ② 地区内に事務所等を有する福祉事業者等の報告を聴取する機会を設けます。



ひとり暮らし
高齢者
訪問活動



地区敬老会



地区敬老会



年末愛の運動

その4 美しく生活しやすいまちづくり

1 環境整備

(1) 現状と課題

各自治会でのゴミステーションの管理，各自治会，老人クラブ，女性会，PTA，ボランティアなどによる清掃活動，まちづくり推進委員会による美化啓発看板の作成など，宮原地区の美化はこれら多くの団体や個人によって担われています。

しかし，朽廃した空き屋，空き地の雑草，住民が高齢化して河川の掃除ができない，山際の住宅地にイノシシが出没するなどの問題があります。

また，地区全体の連帯意識を醸成するためにも当地区全体で環境美化に取り組む日を作ったかどうかという意見もあります。

(2) 基本方針

- ① 現在の活動を継続していきます。
- ② 空き地・空き屋の有効利用について検討します。
- ③ 地区全体での環境美化の取り組みについて検討します。



ボランティア清掃

2 都市基盤整備

(1) 現状と課題

宮原地区の道路は，幹線道路として南北に縦断する国道487号線，市道本通警固屋阿賀線（バス通り）及び和庄宮原線（上道路）並びに東西に横断する宮原休山線がありますが，他の生活道路の多くは狭隘で勾配が強く自動車が入らないため，若者の地域離れの原因，多くの高齢者にとっての移動の障害になっています。

当地区には適度に公園が分散し，高齢者の健康づくり，子どもの遊び場として利用されていますが，串山公園が利用しにくいという意見があります。

また，近年商店の閉鎖が進み，食料品・日用品の買い物に不便が生じています。

(2) 基本方針

- ① 道路の拡幅について行政と協働で取り組みます。
- ② 宮原1丁目アパート移転後の土地利用計画について検討します。
- ③ 商店の誘致，既存商店の活性化について検討します。



階段道路

その5 町民参加の態勢づくり

(1) 現状と課題

宮原地区では、各自治会及び各種団体が地域の課題に積極的に取り組み、それぞれ特色のある活動を行っていますが、全体的な課題に対して横断的に取り組むという点では不十分だといわれています。

また、住民団体のメンバーが高齢化している。活動するメンバーが固定化し、行事等を世話する人がほとんど同じ顔ぶれになっているといった指摘もあります。

(2) 基本方針

- ① まちづくり推進委員会を中心に、各団体の連携を強化します。
- ② 宮原のために何か役立ちたいと思っている人を支援する仕組みを作り、地域を支える人づくりを進めます。
- ③ 宮原地区でのまちづくり研修を継続して実施します。
- ④ 支所3階を住民の活動拠点として整備します。
- ⑤ 宮原独自の表彰制度の創設、宮原のシンボルマークの作成、ホームページの開設、広報紙の発行などを行い、町民の地域に対する関心を高めていきます。
- ⑥ まちづくり推進委員会及び自治会連合会で町民の要望・意見を聴取し、住民でできること、行政と住民が協働で行うもの、行政に働きかけるものに整理し、それぞれ対応していきます。
- ⑦ 全部の町で自治会を結成するよう、未結成の町に様々な機会を通じて働きかけていきます。
- ⑧ 個別のボランティア団体、文化・スポーツ団体との連携を強化します。



育児の集い



三世代交流料理教室



つぼんち祭り



ふれあい文化祭

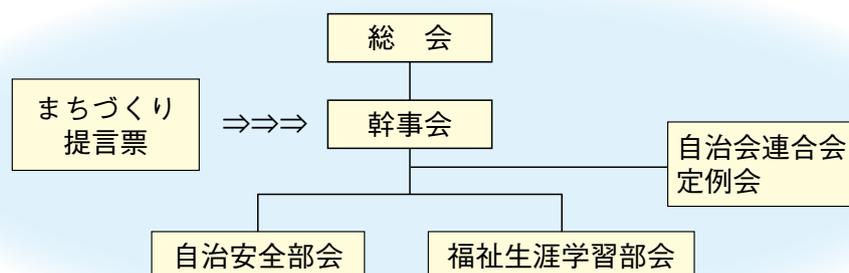
付属資料

1 まちづくり基本計画策定の主な経過

平成20年度

- 6月3日〔総会〕 地域協働課職員から『ゆめづくり地域協働プログラム』の説明を受けた。
 - 6月9日〔幹事会〕 計画策定の進め方, 「まちづくり提言票」を協議
 - 6月24日〔幹事会〕 「まちづくり基本計画(骨子)」を協議
 - 7月 地域の自治会, 住民団体, 学校, 社会福祉事業者, 市職員から38通の「まちづくり提言」を頂いた
 - 7月 呉市主催の「地域まちづくり計画策定支援研修会」(ワークショップ, 鳥取県日南町視察等)に参加
 - 7月10日〔自治連定例会〕 「まちづくり基本計画(骨子)」を報告
 - 7月15日〔総会〕 「まちづくり基本計画(骨子)」を協議
 - 9月 地域の自治会, 住民団体, 市職員から20通の「第2回まちづくり提言」を頂いた
 - 9月2日〔幹事会〕 「まちづくり基本計画(提言集約版)」を協議
 - 9月10日〔自治連定例会〕 「まちづくり基本計画(提言集約版)」を報告
 - 9月22日〔福祉生涯学習部会〕 「まちづくり基本計画(提言集約版)」を協議
 - 9月26日〔自治安全部会〕 「まちづくり基本計画(提言集約版)」を協議
 - 10月21日 まちづくり先進地の事例調査(丸亀市川西地区自主防災会)
 - 11月7日〔幹事会〕 「まちづくり基本計画(素案)」を協議
 - 11月10日〔自治連定例会〕 「まちづくり基本計画(素案)」を報告
 - 12月2日〔自治安全部会〕 「まちづくり基本計画(素案)」を協議
 - 12月6日〔福祉生涯学習部会〕 「まちづくり基本計画(素案)」を協議
 - 1月20日〔幹事会・自治連役員会〕 「まちづくり基本計画(案)」を協議
 - 2月10日〔自治連定例会〕 「まちづくり基本計画(案)」を報告
 - 2月17日〔自治安全部会〕 「まちづくり基本計画(案)」を承認
 - 2月20日〔福祉生涯学習部会〕 「まちづくり基本計画(案)」を承認
- 両部会での承認をもって「まちづくり基本計画」が成立

計画策定の体制



2 宮原地区まちづくり推進委員会委員名簿

役 職	氏 名	団 体 役 職 名
会 長	塩 見 博	宮原地区自治会連合会会長 宮原地区社会福祉協議会会長
副 会 長	小 泉 澄 子	宮原地区社会福祉協議会副会長 宮原女性連合会会長
副 会 長	中 崎 丈 夫	宮原地区老人クラブ連合会会長
会 計 幹事・福祉生涯学習部会長	藤 本 誠 治	第1区民生委員児童委員協議会会長
監 査 福祉生涯学習部会委員	石 井 俊 昭	宮原地区青少年補導員連絡協議会会長
監 査 自治安全部会委員	中 岡 博 美	宮原地区子ども会育成者連絡会会長
委 員 自治安全部会委員	平 野 彌 生	宮原女性連合会副会長
委 員 自治安全部会委員	傍 田 利 信	宮原地区交通安全推進協議会会長
委 員 幹事・福祉生涯学習副会長	山 根 國 一	宮原体育協会会長
委 員 幹事・自治安全副会長	石 井 信 孝	宮原健康づくり推進協議会会長
委 員 福祉生涯学習部会委員	藤 木 晶 子	宮原文化連盟会長代行
委 員 幹事・自治安全部会長	大 杉 謙 人	宮原地区防犯パトロール隊ブロック責任者
委 員 福祉生涯学習部会委員	竹 中 迪 子	宮原地区母子寡婦福祉会会長
委 員 福祉生涯学習部会委員	鳴 田 卓 二	宮原中学校PTA会長
委 員 福祉生涯学習部会委員	中 川 幸 恵	宮原小学校PTA会長
委 員 福祉生涯学習部会委員	深 川 貴 浩	坪内小学校PTA会長

(平成21年2月現在)

3 宮原の歴史

明治5 (1872) 年6月8日	宮原村に日新館 (現宮原小学校) 設立
……………	宮原村の人口4,961人, 戸数1,026戸
17 (1884) 年7月	海軍進出により土地買い上げ始まる
19 (1886) 年……………	呉～警固屋間道路 (宮原上道路) 完成
23 (1890) 年4月21日	明治天皇の行幸を得て呉鎮守府開庁式挙行
35 (1902) 年10月1日	宮原村, 莊山田村, 和庄町, 二川町が合併し呉市誕生
44 (1911) 年4月1日	坪内尋常小学校 (現坪内小学校) 開校
昭和元 (1926) 年9月30日	呉市立中学校 (現宮原高等学校) が現在地に移転
15 (1940) 年8月8日	戦艦「大和」進水式
20 (1945) 年7月1日	呉空襲
8月15日	終戦
9月18日	枕崎台風により町内各所被害甚大, 宮原地区犠牲者309名
22 (1947) 年4月1日	宮原中学校開校
26 (1951) 年6月30日	日垂製鋼(株)呉工場 (現日新製鋼(株)呉製鉄所) 操業開始
27 (1952) 年9月…	後藤保育所開所
29 (1954) 年……………	宮原体育協会設立
40 (1965) 年……………	宮原地区の人口17,560人
41 (1966) 年5月9日	宮原児童館開館
42 (1968) 年7月9日	集中豪雨により町内各所被害甚大, 宮原地区犠牲者14名
43 (1968) 年8月1日	宮原公民館開館
46 (1971) 年4月20日	I H I で世界最大のタンカー「日石丸」(37万トン) 進水
53 (1978) 年7月1日	宮原地区に住居表示実施
56 (1981) 年3月20日	現宮原支所完成
平成元 (1989) 年5月…	第1回宮原地区町民運動会開催
9 (1997) 年4月1日	西消防署南出張所開設
8月30日	第1回ふれあいペタンク大会開催
10 (1998) 年11月7日	現宮原公民館完成
14 (2002) 年……………	宮原地区の人口9,789人 (1万人を割り込む)
15 (2003) 年4月1日	宮原健康づくり推進協議会設立
17 (2005) 年2月21日	宮原地区防犯パトロール隊結成
11月21日	宮原地区まちづくり推進委員会発足

* 明治青年大学講師 石井俊昭氏編

『ふるさと くれ・宮原の歴史の記憶』より抜粋

4 宮原マップ





宮原地区まちづくり基本計画
平成21(2009)年7月

発行 宮原地区まちづくり推進委員会

〒737-0024 呉市宮原4丁目10番1号
宮原市民センター内

TEL (0823) 24-2235

FAX (0823) 26-6264

ホームページ <http://www.city.kure.lg.jp/~miyaharasc/>